

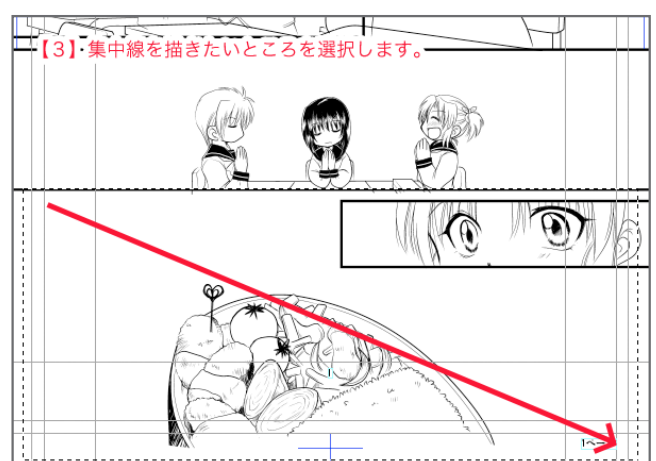
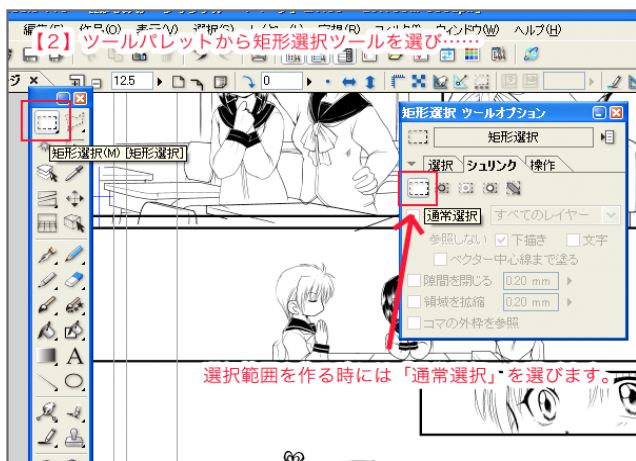
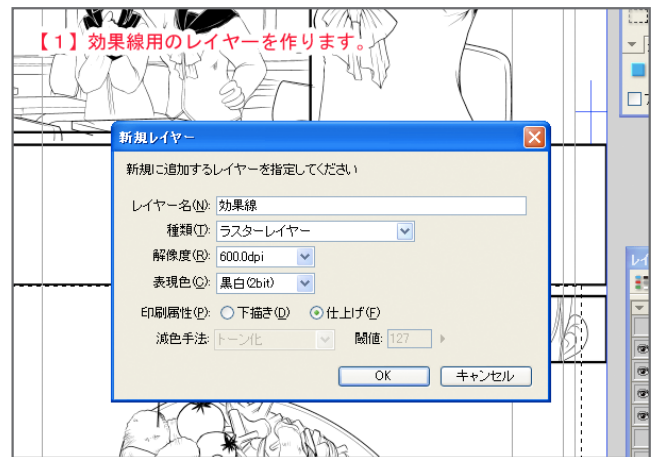
# 効果線を入れよう！ ～集中線フィルタその1～

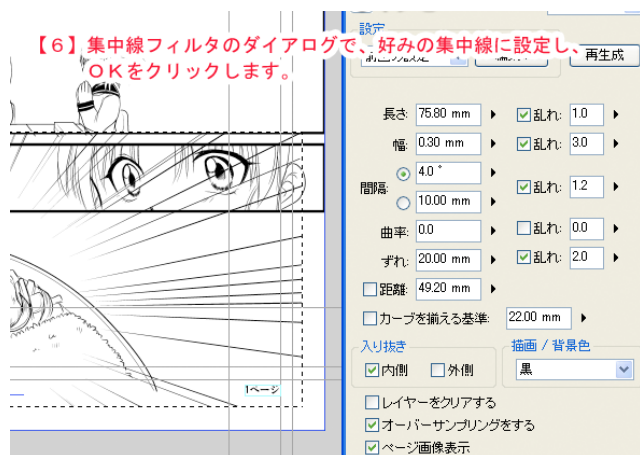
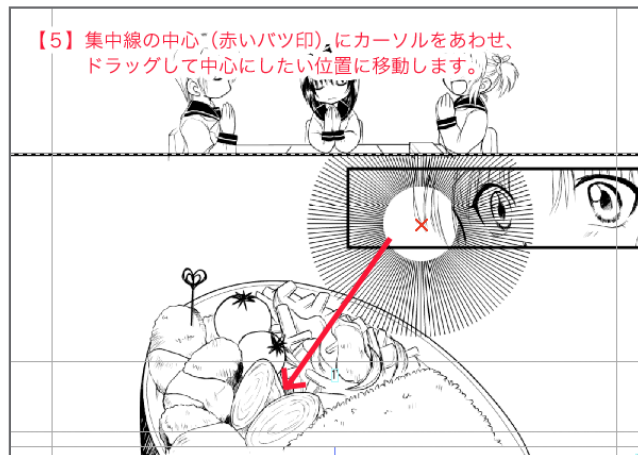
前回、ベタを塗ったので今度は画面に集中線や効果線を入れていきます。

集中線や効果線を入れるには、大きく2つの方法があります。一つは「放射線定規や平行線定規を使って描く」方法と「フィルタを使って描く」方法です。今回は、「フィルタを使って描く」方法をやってみたいと思います。

## 集中線フィルタを使って集中線を描く

簡単に集中線を引きたい時は、フィルタメニューの「描画」にある「集中線」フィルタを使うと便利です。





手順としてはこんな感じです。

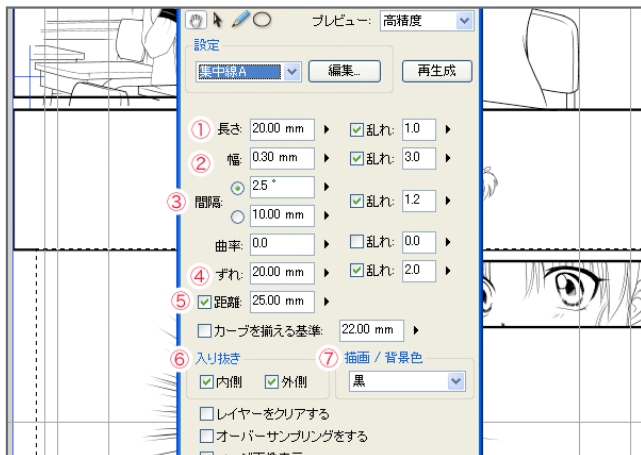
集中線フィルタのダイアログ、次はこのパラメーターを調整して、使いたい集中線を作っていきます。

## 集中線フィルタを設定する

集中線フィルタを1から調整して、自分好みの集中線を作成するのは結構大変です。とりあえず最初は、「設定」のところに入っているデフォルトの集中線の中からイメージに近い設定を選んで、その後パラメーターを調整するとちょっと楽です。

「設定」のところに入っている集中線の中で一番基本的な集中線が「集中線A」。今回はこれを調整していきます。

集中線フィルタでは以下の項目を中心に調整していきます。



### 1 長さ

線の長さを設定します。

### 2 幅

線の太さを設定します。

### 3 間隔

線同士の間隔の設定です。度数かミリで設定できます。

### 4 ずれ

中心からの距離のランダム度合いを設定できます。この値を大きくすると、ばらばらとした集中線になります。

### 5 距離

中心（赤いバツ印）からの距離です。この設定した距離より外側に集中線が作画されます。

### 6 入り抜き

線に入り抜きをつけます。

### 7 描画／背景色

描画する線の色、背景の色を選べます。

私の場合、最初に「長さ」を設定して、距離で中心からの距離を決めて、その後「幅」で線の太さを調整していきます。後は少しずつ好みの状態になるまで、「ずれ」なんかを調整していきます。

パラメーターを調整していると、ちょっと気になるのが各項目の後についている「乱れ」のチェックボックス。

これは何かというと、項目に「ランダム性を加えるかどうか？」のチェックだったりします。これをチェックして数値を調整することで該当の項目にランダム性を加え、自然な集中線を作成することができます。

逆に「乱れ」のチェックを全部外すと等間隔のきっちりした集中線を作成できるので、場面によって使い分けるといいと思います。

（※乱れのチェックを入れても、数値が「0」だとチェックを外しているのと同じ効果なので要注意）

ちょっと長くなったので、今回はこのへんで。次回も集中線フィルタの機能を紹介します。

